

# 小学校道徳副読本における指導内容の取扱い数

平 田 繁

## Contents Organization of Sub-Textbooks on Morality for Elementary School Students

Shigeru Hirata

(2013年11月27日受理)

### 1 主題設定理由

#### (1) 現代社会の状況から

青少年に関わる事件やいじめ等の問題が起こる度に道徳教育の充実が叫ばれる。1998年の「新しい時代を拓く心を育てるために一次世代を育てる心を失う危機－（中央教育審議会答申）」<sup>1)</sup>や2013年の「教育再生実行会議「いじめの問題等への対応（第一次提言）」」<sup>2)</sup>である。また、2000年の教育改革国民会議「教育を変える17の提案」において「学校は道徳を教えることをためらわない」<sup>3)</sup>として道徳の教科化を提言し、教育基本法改正以後は、2007年の教育再生会議「社会総がかりで教育再生を（第三次報告）」で「徳育を「教科」とし、感動を与える教科書を作る」<sup>4)</sup>として、道徳の教科化がマスコミに取り上げられ世論の高まりもあった<sup>5)</sup>。2008年の「第1期教育振興基本計画（中央教育審議会答申）」では、道徳教育の推進について「指導体制と指導計画」や「教材については、学習指導要領の趣旨を踏まえた適切な教材が教科書に準じたものとして十分に活用されるよう、国庫補助制度等の有効な方策を検討する」としている<sup>6)</sup>。2013年の「第2

期教育振興基本計画（中央教育審議会答申）」では、道徳教育の推進について「「心のノート」の改訂と配布、魅力的な教材の開発と活用、道徳の教科化について検討する」としている<sup>7)</sup>。現在、教育再生実行会議の提言や第2期教育振興基本計画を受け「道徳教育の充実に関する懇談会」において、心のノートの改訂作業や教科化に伴っての教科書や教材についての議論が行われている。特に教材については、民間の教材会社で開発・刊行した読み物資料を活用することも意見として出されている<sup>8)</sup>。

#### (2) 年間指導計画の作成から

学校における道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて行うものであるが、その要となるのは道徳の時間である。道徳の時間は、各教科等における道徳教育と密接な関連を図りながら計画的、発展的に指導することが期待されている。特に道徳の時間で育成される道徳の実践力は、「徐々に、しかも、着実に養われることによって、潜在的に、持続的な作用を行為や人格に及ぼすものであるだけに、長期的展望と綿密な計画に基づいた丹念な指導がなされなければならない」<sup>9)</sup>からである。このことから小学校学習指導要領第3章道徳の「第3 指導計画の作成

別刷請求先：平田繁，中村学園大学教育学部，〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

E-mail：hirata@nakamura-u.ac.jp

<sup>1)</sup> 「新しい時代を拓く心を育てるために」一次世代を育てる心を失う危機－（中央教育審議会（答申） [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chuuou/toushin/980601.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chuuou/toushin/980601.htm)

<sup>2)</sup> いじめの問題等への対応（第一次提言）（教育再生実行会議） [http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaiei/pdf/dai1\\_1.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaiei/pdf/dai1_1.pdf)

<sup>3)</sup> 教育を変える17の提案（教育改革国民会議報告） <http://www.kantei.go.jp/jp/kyouiku/>

<sup>4)</sup> 社会総がかりで教育再生を（第三次報告）（教育再生会議） [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/037/shiryo/08021312/001/001.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/037/shiryo/08021312/001/001.pdf)

<sup>5)</sup> 朝日新聞 朝刊2007年3月30日「道徳，教科化に格上げ案 再生会議で議論へ」

<sup>6)</sup> 教育振興基本計画について－「教育立国」の実現に向けて－（中央教育審議会答申） [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/08042205.htm)

<sup>7)</sup> 第2期教育振興基本計画について（中央教育審議会答申） [http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/toushin/\\_jcsFiles/afidfile/2013/05/08/1334381\\_02\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_jcsFiles/afidfile/2013/05/08/1334381_02_2.pdf)

<sup>8)</sup> 道徳教育の充実に関する懇談会（第5回）配付資料4「道徳教育の充実に関する懇談会」これまでの主な意見 [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/096/shiryo/attach/1338049.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/096/shiryo/attach/1338049.htm)

と内容の取扱い（以下、内容の取扱い）1」において「道徳の時間の年間指導計画を作成するものとする」とし、作成が義務づけられている。また「内容の取扱い(2)」において「第2に示す各学年段階ごとの内容項目について、児童や学校の実態に応じ、2学年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導を行うよう工夫すること」とあり、年間にわたり、また小学校6年間を見通した重点的な年間指導計画の作成が各学校で期待されている。

年間指導計画の作成に当たっては、指導しようとする内容について「ねらい」と「資料」をもって主題を構成し、適切に位置付け、配列する。また、年間指導計画は、学校の教育計画として意図的、計画的に作成されているので指導者の恣意による不用意な変更は慎まなければならない。これらのことから、特に資料については事前に収集し、指導内容等を把握しておくことが重要である。2012年の道徳教育実施状況調査によれば道徳の時間の年間指導計画を作成している小学校は99.6%で、そのうち92.7%の小学校が資料名を明確に位置付けている<sup>10)</sup>。

## 2 主題の意味

### (1) 小学校道徳副読本とは

小学校道徳副読本（以下副読本）は、道徳の時間の指導に用いる教材で、特に展開段階で用いる読み物資料である。道徳の時間は教科ではないので検定教科書は無く、これに変わるものが必要である。学校教育法第34条第2項で有益適切なものは使用が認められ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第33条2項で教育委員会に届け、承認を受けることになっている。このようなことから小学校現場では、一般的に民間の教材会社で開発・刊行した読み物資料を副読本として利用し、年間指導計画の中に活用資料として位置付けている。2012年の道徳教育実施状況調査によれば、民間の教材会社が作成した副読本を利用している学校は86.3%と高く、副読本を児童各自に持たせて使用している39.5%、学校備え付けにして使用している55.5%となって

いる。東京学芸大学の調査でも用いることが多い資料として道徳用副読本97.0%となっている<sup>11)</sup>。

### (2) 指導内容とは

指導内容とは、小学校学習指導要領第3章道徳の「第2 内容」に示されている、「第1学年及び第2学年」16項目、「第3学年及び第4学年」18項目、「第5学年及び第6学年」22項目のことである。これらの内容は、児童の発達段階等を考慮し適時性からそれぞれの学年で必ず扱うように定められている。各項目は、表1にあるように学年段階毎に継続的、発展的な内容が多いが、「第3学年及び第4学年」で新たに加えられた内容が1項目、分化した内容が2項目、「第5学年及び第6学年」で新たに加えられた内容が4項目、統合・分化された内容が4項目となっている。

指導内容を年間の標準的な指導時間35時間（第1学年34時間）に割り振り、年間指導計画を作成するとすると必然的に2回や3回指導する内容が出てくる。更に重点化すると4回等もあり得る。民間の教材会社が作成した副読本は、各学年とも年間の標準的な指導時数に合わせて年間35資料（第1学年34資料）で編集しているので、指導内容の重点化も見ることができる。

## 3 目 標

- 民間の教材会社が作成した小学校道徳副読本の指導内容項目数を把握し、重点指導内容と各社の編集方針の特徴を明らかにする。
- 小学校道徳副読本の採択と年間指導計画作成時の資料選択の留意点について明らかにする。

## 4 対象及び方法

- 平成24年に副読本を入手した7社（8資料）及び出版社HPから年間指導計画作成資料をダウンロードした2社を対象とした。7社（8資料）は、学研、東京書籍、学校図書、日本文教、日本文教（旧大阪書籍「生きる力」）、文溪堂、光村図書、教育出版である。2社は、日本標準<sup>12)</sup>、光文書院<sup>13)</sup>である。別冊の県版資料等は除外し、

<sup>9)</sup> 文部科学省 小学校学習指導要領解説 道徳編 2008 31頁

<sup>10)</sup> 文部科学省 道徳教育実施状況調査 [http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afiedfile/2013/01/04/1282847\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afiedfile/2013/01/04/1282847_1.pdf)

<sup>11)</sup> 東京学芸大学「総合的道徳教育プログラム」推進本部 道徳教育に関する小・中学校の教員を対象とした調査―道徳の時間への取り組みを中心として―〈結果報告〉 2012 16頁

<sup>12)</sup> 日本標準 みんなで考える道徳 年間指導計画案・授業展開例 [http://www.nipponhyojun.co.jp/sinkan/doutoku/index\\_syoun.html](http://www.nipponhyojun.co.jp/sinkan/doutoku/index_syoun.html) 平成25年9月10日

表 1 道徳の内容の学年段階一覧

	第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年
1 自分自身	<p>(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないので、規則正しい生活をする。</p> <p>(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>(3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>(4) うそをついたりごまかししたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。</p>	<p>(1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。</p> <p>(3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。</p> <p>(4) 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元氣よく生活する。</p> <p>(5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。</p>	<p>(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。</p> <p>(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。※</p> <p>(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。※</p> <p>(4) 誠実に、明るい心で楽しく生活する。</p> <p>(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。</p> <p>(6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。</p>
2 他の人	<p>(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。</p> <p>(2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(3) 友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p>	<p>(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。</p> <p>(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p> <p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもち、大切に接する。</p> <p>(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切に接する。</p> <p>(2) 自然のすばらしさや不思議なものに感動し、自然や動植物を大切に接する。</p> <p>(3) 美しいものや気高いものに感動する心を持つ。</p>	<p>(1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。</p> <p>(2) だれに対しても思いやりや心のをもち、相手の立場に立って親切にする。</p> <p>(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。</p> <p>(4) 謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切に接する。</p> <p>(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。</p> <p>(1) 生命がかげがけないものであることを知り、自他の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切に接する。</p> <p>(3) 美しいものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。</p>
3 自然や崇高	<p>(1) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> <p>(3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。</p> <p>(1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に接する。</p>	<p>(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切に接する。</p> <p>(2) 自然のすばらしさや不思議なものに感動し、自然や動植物を大切に接する。</p> <p>(3) 美しいものや気高いものに感動する心を持つ。</p> <p>(1) 約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。</p>	<p>(1) 公徳心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切に接し進んで義務を果たす。</p> <p>(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。</p> <p>(3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力し主体的に責任を果たす。</p> <p>(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。</p> <p>(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。</p> <p>(6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。</p> <p>(7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切に接し、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。※</p> <p>(8) 外国の人々や文化を大切に接する心をもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。※</p>
4 集団や社会	<p>(2) 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。</p> <p>(4) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。</p> <p>(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。</p>	<p>(2) 働くことの大切さを知り、進んで働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。</p> <p>(4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。</p> <p>(5) 郷土の伝統と文化を大切に接し、郷土を愛する心をもつ。※</p> <p>(6) 我が国の文化と伝統に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。※</p>	

※指導内容の合計時は、統合・分化した内容もあるが、本表の同じ列で集計を行うようにした。

※分化した指導内容には、※を入れている。

道徳の時間の標準授業時数に合わせて各社が掲載している資料の内容項目のみを対象とした。

- 各出版社が資料名と共に内容項目を記述している一覧表と年間指導計画案を各学年、内容項目毎に集計した。同じ資料であっても出版社によって内容項目が違っている場合は、各出版社の記述に従った。一覧表と年間指導計画案に違いがあり、明らかな記載ミスは正しい内容項目にして集計した。6年間の内容項目の合計は、内容項目の番号ではなく同じ指導内容の系統及び発展に基づいた。

## 5 結果及び考察

各出版社も学年の標準授業時数に合わせ、第1学年34資料、第2学年以上35資料ずつを内容項目に割り振っていた。6年間の合計は各社とも209資料で、10社の合計は2,090資料であった。

### (1) 第1学年及び第2学年

第1学年及び第2学年の結果は表2の通りであった。内容項目1-(1)「節度・節制、自立」<sup>附1)</sup>76資料、3-(1)「生命尊重」59資料、4-(1)「公德心、規則尊重」53資料、2-(2)「思いやり・親切」52資料の順に多く扱われていた。特に1-(1)「節度・節制、自立」に各社とも6資料以上配当し、重点化が図られていた。また、3-(1)「生命尊重」にも6資料以上配当した出版社が8社と重点化が窺えた。第1学年及び第2学年の内容は16項目ずつあり、年間標準授業時数35時間(第1学年34時間)から考えると、各項目2時間(2年間で4時間)配当し、一部を3時間(2年間で6時間)配当するのが一般的である。しかし、各社とも学習指導要領の指導計画の作成に準じて、各学年を通じて重点化する項目「自立心や自立性」や「自他の生命を尊重する心」、低学年で重点化する項目「基本的な生活習慣」や「社会生活上のきまりと善悪の判断」を意識した配当を行っていると言える。特に1つの内容項目に2年間で8時間以上配当する計画をしている光文書院、日本文教、日本文教(生きる力)、東京書籍は重点化を意識した提案をしている出版社と言える。しかし、重点化されて同じ項目で年間何回も指導することとなると、指導内容を良く吟味し、資料との

兼ね合いでねらいを焦点化して主題を構成し、関連的、発展的な指導が重要となる。

今回の学習指導要領で新たに加えられた4-(2)「勤労」は、勤労観育成が期待されているが23資料と少なく、学校の実態で重点化する場合は補充資料が必要となる。

### (2) 第3学年及び第4学年

第3学年及び第4学年の結果は表3の通りであった。内容項目2-(3)「信頼友情、助け合い」60資料、1-(1)「節度・節制、自立」59資料、4-(1)「公德心、規則尊重」58資料、3-(1)「生命尊重」56資料の順に多く扱われていた。特に2-(3)「信頼友情、助け合い」が第1学年及び第2学年から16資料増え、この学年での最重点項目と言える。他は、低学年と同様の傾向で、各学年を通して重点化が期待される項目に多くの資料を配当していた。

第3学年及び第4学年の内容は18項目ずつあり、年間標準授業時数35時間からすると各項目2時間(2年間で4時間)配当し、一部を1時間(2年間で2時間)配当するのが一般的である。このような見方で1つの項目に1年間に3時間以上配当している場合は、出版社が意図して重点化していると考ええる。この結果、学習指導要領上、中学年で重点化が期待される「集団や社会のきまりを守る」や「身近な人々と協力し助け合う」に多くの資料を配当していることから、中学年においても学習指導要領に準じていると言える。さらに2年間で1つの内容項目に7時間以上、若しくは1つの内容項目に6時間以上配当し、その内容項目が3項目以上ある出版社は、光文書院、日本文教(生きる力)、文溪堂、東京書籍、日本文教、学校図書、教育出版となっており重点的な計画を提案していると言える。

今回の学習指導要領で第3学年及び第4学年に新たに加えられた1-(5)「個性伸長」は、26資料と少なかった。新たに加えられた項目は、低学年でも中学年でもその段階で必要とする項目で加えられたと考えられるが、少ないが故に丁寧な指導のもと、学年段階毎に徐々に積み上げて行くことが大切となる。

### (3) 第5学年及び第6学年

第5学年及び第6学年の結果は表4の通りであった。内容項目3-(1)「生命尊重」56資料、4-(1)

<sup>13)</sup> 光文書院 小学校道徳「ゆたかな心ー新しい道徳ー」 年間指導計画例 <http://www.kobun.co.jp/dataroom/plan/index.html> 平成25年9月10日

<sup>附1)</sup> ※内容項目1-(1)「節度・節制、自立」は、正しくは「1-(1) 健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがまをしない、規則正しい生活をする。」であるが、紙面の都合上、副読本に記載されている簡略化されたキーワードで記述している。以下同様である。



表2 各出版社の1年・2年の指導内容数

[illegible]



表4 各出版社の5年・6年の指導内容数

指導内容	5年										6年										5年と6年計												
	光文書院	日本標準	光村図書	日文生きる②	文芸堂	東京書籍	日本文教	学習研究社	学校図書	教育出版	計	光文書院	日本標準	光村図書	日文生きる②	文芸堂	東京書籍	日本文教	学習研究社	学校図書	教育出版	計	光文書院	日本標準	光村図書	日文生きる②	文芸堂	東京書籍	日本文教	学習研究社	学校図書	教育出版	高学年合計
1 自分自身	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	38
	(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。																																
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	21	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	41
	(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。																																
	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1	13	1	2	2	2	1	1	2	2	1	3	17	2	4	4	4	3	2	2	4	3	4	30
	(3) 自由を大切に、自律的で責任のある行動をする。																																
2 他人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	11	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	
	(4) 誠実に、明るく楽しく生活する。																																
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1	1	1	1	1	2	1	1	1	11	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21	
	(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。																																
	1	2	1	1	2	1	2	2	1	1	14	1	2	1	1	1	1	2	2	1	13	2	4	2	2	3	2	4	4	2	2	2	27
	(6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。																																
3 自然・崇高	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	12	1	1	1	1	1	1	2	1	1	11	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
	(1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。																																
	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	19	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	19	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	38
	(2) だれに対しても思いやり的心をもち、相手の立場に立って親切にする。																																
	4	2	2	2	2	1	2	2	1	2	21	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	17	5	4	4	4	4	4	2	4	3	38
	(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。																																
4 集団や社会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	1	1	1	1	2	1	2	2	1	13	2	2	2	2	3	2	4	2	2	2	24	
	(4) 謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にす。																																
	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	11										10	2	2	2	2	2	2	2	3	4	2	2	21
	(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。																																
	3	3	3	3	2	3	2	2	3	3	27	5	3	3	3	2	3	2	2	2	3	29	8	6	6	4	6	4	4	6	6	6	56
	(1) 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。																																
5 自然・崇高	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	17	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	19	3	3	4	4	4	4	4	4	4	2	36
	(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にす。																																
	1	1	1	1	2	1	2	1	2	2	13	1	1	1	1	1	2	1	1	2	3	14	2	2	2	2	2	2	4	2	4	5	27
	(3) 美しいものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。																																
	2	2	3	2	2	2	3	1	2	2	21	3	2	3	2	2	2	2	2	1	2	1	20	5	4	6	4	4	5	2	4	3	41
	(1)公徳心をもつて法やきまりを守り、自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。																																
6 集団や社会	2	1	2	2	2	1	1	2	1	1	15	1	1	2	1	1	1	2	1	1	12	3	2	3	4	3	2	2	4	2	2	27	
	(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。																																
	4	1	2	2	2	2	2	1	2	3	21	3	1	2	1	2	2	2	1	2	1	17	7	2	4	3	4	4	4	2	4	38	
	(3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。																																
	2	2	1	2	2	2	1	2	2	1	17	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18	3	4	2	4	4	4	3	4	4	3	35
	(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。																																
7 自然・崇高	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	11	1	1	1	1	1	1	1	2	1	11	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	
	(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求め、進んで役に立つことをする。																																
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20	
	(6) 先生や学校の人々の敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。																																
	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	19	2	2	2	2	2	2	1	2	2	3	20	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	39
	(7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切に、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。																																
8 自然・崇高	1	2	1	2	2	2	1	2	3	18	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	3	19	2	4	3	4	4	4	2	4	4	6	37
	(8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。																																
合計	35	35	35	35	35	35	35	35	35	350	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	350	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	700	

「公德心，規則尊重，権利・義務」41資料，1－(2)「希望，勇気，不撓不屈」41資料の順に多く扱われていた。第5学年及び第6学年の内容は22項目ずつで，中学年よりも4項目増加し，1項目に充てる時間は少なくなる。そのような中，4－(7)「郷土愛，愛国心」26資料から39資料へ，4－(8)「国際理解・親善」26資料から37資料へ増加していた。また，高学年で新たに加わった内容項目が1－(5)「創意・進取」，2－(4)「寛容・謙虚」，4－(2)「公正・公平，正義」，4－(3)「役割と責任の自覚」の4項目ある。低学年や中学年では新たに加えられた項目を重視する傾向はなかった。その中で4－(3)「役割と責任の自覚」は38資料であった。これらは学習指導要領上，各学年で重点化すべき内容であり，且つ高学年で重点化が期待される項目である。このことから各社とも高学年においても学習指導要領に準じて編成していると言える。次に1つの内容項目に6時間以上配当している場合は，出版社が意図して重点化していると考ええる。結果，光文書院，日本標準，光村図書，日本文教（生きる力），東京書籍，学校図書，教育出版があり，出版社なりに重点化した計画を提案していると言える。

#### (4) 第1学年から第6学年

6年間の集計は表5の通りである。1－(1)「節度・節制，思慮・反省，自立」173資料，3－(1)「生命尊重」171資料，4－(1)「公德心，規則尊重」152資料であった。各学年を通じて「自立心や自律性」と「自他の生命を尊重する心」，各学年段階では「きまり」を重点化するように学習指導要領で規定され，その通りに編集されていると言える。しかし，3－(1)「生命尊重」は各学年を通し一貫して重要視されているが，1－(1)「節度・節制，思慮・反省，自立」は高学年に上がるに従って減少し，その分中学年では2－(3)「信頼友情，助け合い」，高学年では4－(3)「役割と責任の自覚」，4－(7)「郷土愛，愛国心」，4－(8)「国際理解・親善」が重視される傾向がある。また，四つの視点から重点化を考えると低学年では「1 主として自分自身に関すること」，中学年では「2 主として他の人とののかかわりに関すること」，高学年では「4 主として集団や社会とののかかわりに関すること」と変化し，「3 自然や崇高なものとののかかわりに関すること」は一定していると言える。

各出版社の6年間の内容項目の合計は表6の通りである。学習指導要領に沿い，基本的な重点の置き方は同じような傾向を示すが，大きな違いも見受け

られる。6年間で18時間以上配当されている項目数を見ると，光文書院4項目，日本標準1項目，日本文教（生きる力）1項目，東京書籍2項目，日本文教1項目，学校図書1項目である。充てられている資料数にも最高26があり，相当な開きがある。このようなことから各出版社とも学習指導要領に準拠しながらも特色ある編集をしていると言える。

## 6 まとめと課題

民間の教材会社が作成した副読本は，学習指導要領に準拠して内容項目の重点化が図られていた。しかし，各出版社とも各項目に全く同じように資料を割り振っているわけではなく，編集方針に違いが見られた。道徳の時間の年間指導計画は，学習指導要領に沿いながらも児童や地域の実態等を勘案し，各学校で指導内容の重点化を図る必要がある。このように考えた場合，道徳教育の全体計画を受け，年間指導計画で指導内容の重点を明確にした上で各学校は副読本を選択する必要がある。特に副読本を個人持ちにしている小学校は，購入させた副読本を中心に扱うことになるので特に注意しなければならない。また，学校の重点指導内容と全く一致する副読本があれば良いが，そのようなことは考えにくく，魅力的な資料かどうかも含めて検討が必要である。従って一社の副読本では不十分で小学校道徳読み物資料集<sup>14)</sup>や数社の副読本等を活用することが必要である。現在，副読本を学校備え付けにして使用している学校が55.5%あるが，副読本購入に関わる市町村の財政的な負担が発生することも念頭に置いておかなければならない。今後，道徳の時間の「教科化」が具体化し，教科書や資料に話題が及んだときには，多くの副読本や資料の中から各学校で選択できるような予算措置と幅を持たせる必要があるだろう。

今回は内容項目だけに着目したが，今後の課題として資料内容にも目を向け，子ども達が感動を覚えるような資料が副読本に収集されているのかも吟味する必要がある。

<sup>14)</sup> 文部科学省 小学校道徳読み物資料 2011 文溪堂



	第1学年及び第2学年	計	第3学年及び第4学年	計	第5学年及び第6学年	計	合計
1 自分自身	(1) 健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わかまをしないで、規則正しい生活をする。 (2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。 (3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 (4) うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。	76 39 44 41	(1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。 (2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。 (3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。 (4) 過ちは素直に改め、正直に明るいうえで元氣よく生活する。 (5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。 (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	59 37 27 42 26 36 48 60	(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。 (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 (3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。 (4) 誠実に、明るい心で楽しく生活する。 (5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。 (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。 (1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもつて接する。 (2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。 (4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。 (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。 (1) 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。 (3) 美しいものに感動する心や人間力の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。 (1) 公徳心をもつて法やきまりを守り、自他の権利を大切に申し立てて義務を果たす。 (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 (7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。	38 41 30 21 21 27 23 38 38 24 21 36 27 41 27 38 27 35 22 20 39 37	173 117 101 104 21 53 100 138 142 24 86 171 121 94 152 27 38 91 100 81 93 63 2090
2 他の人	(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。 (2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 (3) 友達と仲よくし、助け合う。	41 52 44	(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。 (2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること。 (3) 美しいものや気高いものに感動する心を持つ。 (1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 (2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。 (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。	31 56 40 32 58	(1) 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。 (3) 美しいものに感動する心や人間力の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。 (1) 公徳心をもつて法やきまりを守り、自他の権利を大切に申し立てて義務を果たす。 (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 (7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。	56 36 27 41 27 38 35 22 20 39 37	171 121 94 152 27 38 91 100 81 93 63 2090
3 自然や崇高	(1) 生きていることを喜び、生命を大切にすること。 (2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。 (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。	59 45 35	(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にすること。 (2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にすること。 (3) 美しいものや気高いものに感動する心を持つ。 (1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。 (2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。 (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。	31 56 40 32 58	(1) 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。 (3) 美しいものに感動する心や人間力の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。 (1) 公徳心をもつて法やきまりを守り、自他の権利を大切に申し立てて義務を果たす。 (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 (7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。	56 36 27 41 27 38 35 22 20 39 37	171 121 94 152 27 38 91 100 81 93 63 2090
4 集団や社会	(1) 健康や安全に気をつけ、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わかまをしないで、規則正しい生活をする。 (2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。 (3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。 (4) うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。	76 39 44 41	(1) 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。 (2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。 (3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。 (4) 過ちは素直に改め、正直に明るいうえで元氣よく生活する。 (5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。 (1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。 (2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。 (3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	59 37 27 42 26 36 48 60	(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がける。 (2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 (3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。 (4) 誠実に、明るい心で楽しく生活する。 (5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。 (6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。 (1) 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもつて接する。 (2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。 (3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合う。 (4) 謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。 (5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。 (1) 生命がかげがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。 (2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。 (3) 美しいものに感動する心や人間力の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。 (1) 公徳心をもつて法やきまりを守り、自他の権利を大切に申し立てて義務を果たす。 (2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。 (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。 (4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 (5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。 (6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 (7) 郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。 (8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもって世界の人々との親善に努める。	38 41 30 21 21 27 23 38 38 24 21 36 27 41 27 38 27 35 22 20 39 37	173 117 101 104 21 53 100 138 142 24 86 171 121 94 152 27 38 91 100 81 93 63 2090

